

第 58 号

小中一貫教育 G だより

令和5年度からの「自立期」について

「自立期」においては、各中学校グループが自らの児童生徒の実態を踏まえ、義務教育9年間を通じて育成を目指す子どもの姿（資質・能力）を明確にし、発達段階に応じた指導・支援を行うことで、主体的に取り組む教育を展開していきます。

各小中一貫教育グループの取組の成果

各中学校グループが義務教育9年間を通じて育成を目指す子どもの姿（資質・能力）を育成するためのそれぞれの取組について紹介します。

「出前授業の実施」

- ・オンラインで県立高校等の推薦合格者による学校生活や受験に関する話と質疑応答

成果

すべての児童が、自分の進学する中学校について、知ることができ、安心に繋がる。



「中学生による学校生活の話」

「目標達成のための取組」

- ①合唱を通して、小中それぞれの最上級生として自覚し合唱・鑑賞に臨むことができた。
- ②小：「先輩に学ぶ」を通して、中学生になる自覚を持つことができた。

中：中学生としての自覚を持って小学生との交流に参加し、中学校と小学校との違いや楽しさを小学生に伝えることができた。

〈目標値 - 達成値〉・・・ 80% - 91.8%

〈成果〉

- ・目標値を大きく上回った。
- ・共通実践事項の交流が効果的で、児童生徒の自覚や満足度を高めている。



「小中合同合唱鑑賞」



「先輩に学ぶ」(小6・中1)